

リンゴ園のカリ施肥量の改善

研究のねらい

県内リンゴ園土壤中の交換性カリ含量を調査し、合理的な施肥法を指導する。

研究の成果

県内リンゴ園土壤中の交換性カリ含量は1985年から1994年までの調査結果では、ほとんどの園地で基準値（28mg）以上であった。また、カリ施肥量を標準施肥量の半分である10アール当たり5kgにしても、収量、樹勢、果実品質及び貯蔵性に影響がなかった。よって、青森県りんご標準施肥量のうち、カリ施肥量を半減し、下表のように改めた。

第1表 青森県りんご標準施肥量

区 分	施 肥 量 (kg/10a)		
	窒 素	リ ン 酸	カ リ
成 木	15	5	5
10年生位	10	3	3
5年生位	5	2	2

第2表 わい性台りんご樹の標準施肥量

樹 齢	施 肥 量 (kg/10a)			備 考
	窒 素	リ ン 酸	カ リ	
6年生以上	15	5	5	全 園 施 用
4～5年生位	10	3	3	
1～3年生位	5	2	2	

(注意事項)

県南地域、新植園、リンゴ栽培年数の浅い園、水田転換園、客土した園、有効土層の浅い園地や肥料の流亡しやすい園地では、2～3年に1回土壌診断を行い、深さ30cmまでの交換性カリ含量が28mg以下の場合はカリ施肥量を10アール当たり10kgとする。複合肥料を使用する場合は低カリ含量の肥料を選択する。

発表資料

1. 病虫肥料部（1996）. 青森県りんご標準施肥量におけるカリ成分の半減. 平成8年度指導参考資料：78－79.
2. 蝦名春三ら（1996）. カリ減肥がリンゴ樹の生育、収量及び果実品質に及ぼす影響. 園芸学会東北支部：23－24.
3. 蝦名春三（1996）. リンゴ園のカリ施肥を見直そう. あおもり農業 47（4）：78－79.